

修正意見等への対応表【第1部会】

↓ ページ番号は、【資料20】基本計画(第1部会修正案)(1・4・5章抜粋)における該当ページを示す

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
1-1	現状と課題	P1	1	「同和問題」の記載がない	修正	同和問題の記載を追加
			2	ワークライフバランスに町職員も取り組んでいるようなことを入れたらどうか	他項目で対応	7-1の働き方改革への対応記載に包含
	①人権・平和 施策の推進	P2	3	・個人情報保護についての記載がほしい ・どこかに入っていればよいのでは	修正	1-1の「現状と課題」に個人情報の流出等の課題記載を追加。個人情報保護の取組は1-2-④に記載。
			4	性的マイノリティに対する窓口等での配慮、同性パートナーへの施策など、外国人・障害者も含む少数者への配慮について記載できないか	修正	さまざまな人権課題への配慮についての記載を追加
	②男女共同 参画の推進	P2	5	DV支援が記載されているが、「デートDV」要素を追加できないか	修正	デートDVの表記を追加
			6	性暴力の防止に向けた啓発などが追加できないか	個別計画で対応	個別計画(男女共同参画計画)で性犯罪やストーカー行為等の防止に向けた取組を記載
1-2	①参画・協働 のまちづくり の推進	P4	7	町の意味決定に住民意見を反映させていくような内容を入れてほしい	原文維持	①では参画機会の提供を、③では多様な手法での広聴実施及び町の施策等への反映を記載
	②地域コミュニティ・住民活動への支援	P4	8	災害時などに自治会やPTA等の組織は重要かつ機能的に活用できると思うので、その点を詳しく記載してほしい	修正	現状と課題で、コミュニティの役割等の表現を整理
			9	・少子高齢化を踏まえた高齢者の活用 ・地域での子育て、高齢者との交流など	他項目で対応	高齢者の活躍は4-3-④で、子どもの見守り等は5-1-⑥で記載 世代間交流の記載は現状と課題に追加
			10	コミュニティ活動には場所が必要。集会所などは老朽化しており、経費の支援など、そうした部分が抜けているのでは？	原文維持	自治会等への各種支援は、現在の記載(活動支援、活発なコミュニティ活動が行われる環境づくり)で総括的に表現
			11	校区変更でPTA・保護者等も地域で分かれる。継続的な校区を。	原文維持	ご意見として伺います。
	参考指標	P4	12	自治会加入世帯数が記載されているが、加入率も分かった方がよいのでは	原文維持	参考資料(参考指標一覧)において、加入率及び近隣状況等の参考情報を提供

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
1-3	現状と課題	P5	13	国際化について記載しているが、入管法改正に伴い外国人労働者が増加していくことを記載した方がよいのでは	原文維持	現在の記載(少子高齢化や労働環境など日本の社会経済情勢の変化を背景に、等)に包含
	② 多文化共生の地域づくり	P6	14	「日本語をうまく話せない人もいることから」の表現に違和感	修正	記載を一部削除
			15	外国人世帯で子は日本語上達するが、親はうまく話せない。子と親でのコミュニケーションの問題。日本語習得支援だけすればよいものでもない。そうした視点がほしい。	原文維持	現在の表現(相談支援、日常生活・学校生活を支援)に包含
4-1	① 健康づくりの推進	P8	16	子どもを受動喫煙から守る取組等の記載を	個別計画で対応	個別計画(方針)において、受動喫煙対策等のたばこに関する取組を記載
4-2	現状と課題	P9	17	「急速な少子高齢化の進行や家族形態の多様化によって、住民ニーズは多様化・複雑化」とあるが、表現としてどうか? 「急速な少子化が進行するとともに」などと分けたらどうか?	修正	背景や環境の変化等の表現を整理
			18	「本町の自殺者数は年数人程度で推移」とあるが、書かないといけいないのか	修正	自殺者数の文章削除
	① 地域の見守り、助け合い、支え合いの充実	P10	19	「見守りや支え合いの地域活動を促進」のところに、子どものことを追加できないか?	他項目で対応	子どもの見守り等は5-1-⑥で記載
			20	小地域ネットワーク(事業名)、民生委員児童委員(個人)が並列となっている。並べるなら、民生委員児童委員協議会などにするべきでは。	修正	小地域ネットワークを中心とする地域の支え合い等の表現を整理
			21	ボランティアなどの記載に「地区福祉委員」の表現追加を	修正	地区福祉委員の記載を追加
	② 相談支援体制の強化	P10	22	・CSW の配置について記載しているが、地域の相談支援体制は他にもある ・CSW の配置の表現が増員のように読み取れる	修正	地域の身近な相談体制に関する表現を整理
			24	子どもの貧困対策などで、SSW を積極的に配置するとか、学校現場で子供たちの貧困のシグナルを見つけるとか、そうした記述が必要では?	他項目で対応	5-1-⑥で子どもの貧困対策について記載

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
4-2	② 相談支援体制の強化	P10	25	・アウトリーチ、相談のワンストップ化など ・ひきこもりの追加、相談窓口の明確化	修正	相談窓口の「周知」と「連携強化」の表現を追加。（アウトリーチの考え方は、現状と課題に記載）
4-4	現状と課題	P13	26	「障害をもつ人」とあるが、他の項目では「障害のある人」と表記している。	修正	「障害のある人」に統一
	① 相談・療育支援体制の充実	P14	27	「障害者地域生活支援拠点を中心として」と記載しているが、町の関与や特色が分かりにくいのではないかと。	修正	町と関係機関の連携についての表現を整理
			28	障害児への療育支援について、「各分野の連携」より踏み込んだ表現ができないかと。	修正	連携強化の表現を追加
4-5	① 生涯学習・社会教育の推進	P16	29	「生涯学習の機会の提供」は記載しているが、「場の提供」についても記載できないかと。	原文維持	生涯学習機会の提供の中に場所等の提供も包含
	③ スポーツ・レクリエーション活動の推進	P16	30	四次総計で記載のあった「指導者の養成」の記述がない。	原文維持	既存の「団体活動の支援」の中に指導者確保等への支援も包含
			31	障害者スポーツの推進についても追加を。	他項目で対応	4-4-②でスポーツ等の障害者の当事者活動支援を記載
5-1	④ 保育・幼児教育・学童保育の推進	P18	32	待機児童解消のためだけの人材確保ではなく、多様な保育サービスに対応する人材確保が必要ではないかと。	修正	子育て支援を担う人材確保についての記載を整理 学童保育の保育室確保の記載を追加
			33	学童保育について、今後の利用児童の増加に対応して、施設や指導員確保の記載が必要では		
	⑧ 青少年の健全育成	P19	34	青年世代の「居場所の確保」等について記載できないかと。	原文維持	中高生等の居場所確保は 5-1-⑦に包含。それ以上の年齢層の居場所等については、現状記載の「青少年健全育成の検討・実施」の中で検討に努めていく。
5-2	① 教育環境の充実	P21	35	学校施設について、維持補修だけでなく、今後の児童・生徒の増加に対応して、施設整備等の記載が必要では	修正	児童・生徒数を踏まえた教室確保の記載を追加して表現を整理
			36	・教員の働き方改革について、部活動、教職員の負担軽減などの追加が必要では ・部活動の指導のために、地域の人材を活用してもよいのでは	原文維持	・部活動等の取組内容については、「働き方改革」の表現に包含 ・地域人材活用は、5-2-③の記載（地域の力を生かした学校運営）に包含
	② 教育活動の充実	P21	37	不登校児に対する対応について、フリースクールなど学校以外の場の活用などを記載できないかと。	原文維持	不登校への対応の表現に包含

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
(2-3)	①交通環境づくり	—	38	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交通手段の充実について記載してほしい。量的な増大に努める等の方向性を記載してほしい。 ・福祉ふれあいバスの充実がこれ以上難しいのであれば、バス会社とタイアップや、コミュニティバスの拡充（有料）等何か記載できないか。 	別部会で 対応	第 2 部会所管の 2-3-①で対応。将来の高齢者増加等も踏まえ、外出支援・移動手段の確保に努める方向性を記載している。
(3-3)	②防犯対策の推進	—	39	「防犯カメラ設置への支援」について、文言をもう少し検討いただきたい。	別部会で 対応	第 2 部会所管の 3-3-②で対応。自治会への設置補助等を踏まえた記載だが、町でも通学路に設置しており、表現は検討（第 2 部会でも意見あり、同部会で対応）